



(AI) (AF)



高度な人工知能 (AI) を備えたロボット、人工親友 (AF) が主人公の物語です。2017 年にノーベル文学賞を受けた作家、カズオ・イシグロさんの最新作です。AF の名をタイトルとした「クララとお日さま」の舞台は、能力主義が行き着いた近未来の格差社会らしい。何らかの施術で人の知力を高度化することも可能なようです。

そんな中で登場人物らは「人間一人一人を特別な個人にしている何か」を追い求めている。「こころ」や「魂」はどこにあるのか。イシグロさんは、取材にこんなふうに答えていました。「おそらく、その人を大切に思う周りの人々の感情の中にこそ宿っているのでは」

家庭のさまざまなコミュニティ内でのふれあい、交流こそが互いの個性をかたちづくる源と作家は考えるのでしょう。一年を超えたコロナ禍を生きる私たちにとって、含蓄に富む言葉です。不要不急の外出の自粛が言われ、会食もままならない日々。心や魂を育む機会を随分と失ったようにも思える。

21 日までの 1 都 3 県の緊急事態宣言。どうやら解除と判断が下されました。どんな結論になろうが、冷静に受け止めたい。イシグロさん流に言えば、誰もが大切な人の「特別な何か」を宿している。

小説の末尾、AF もそのことに気付いた。人間にできないはずがなかろう。周囲への優しく温かな心遣い。そして、コロナを克服しましょう。

都商会 鎌野



春の甲子園



今月は、さすがにコロナの話はやめときたいのですが、そういうわけにもいかないので少しだけ。世界中でワクチン接種が始まっているにも関わらず、世界での新規感染者数はそれほど劇的には、減っていません。本当に最優先で必要などところよりも、既にあまり感染リスクが低い、裕福な国・人・人種が先に接種しているからでしょうね。戦争も核兵器も領土問題も人種問題も資源争奪戦も一向になくならない。でもこれが、今の世の中の現状です。

明るい話題に変えましょう。三島南高校が春の甲子園に初出場を果たしました。監督の稲木君は沼津東高校の野球部の後輩で、彼が三島南高校の監督を務め始めた 10 年くらい前から、三島南高校野球部は徐々に強くなり、最近では常に毎年いいチームを作ってきていました。

昨年の秋季大会では県大会ベスト 4 止まりでしたが、地域の子供への野球教室開催などの地域貢献活動や総部 100 年、そして県立高校であり文武両道、選手はすべて地元の子であることなどが認められて、見事 21 世紀枠で選出されました。今年は神宮大会がコロナの関係で開催されず、21 世紀枠が 1 つ増えたという幸運も味方しましたが、努力は報われるの一言です。既に試合は終わり、1 回戦で敗退しましたが、高校生らしいさわやかな試合ができたと思います。強豪校との対戦になり、コテンパンにやられたらどうしよう、などと心配しましたが。そこも見事のクリアし、持てる力を存分に発揮できたと思います。拍手を送りたいと思います。甲子園の出発前に OB 会長と激励に行ったのですが、その時も稲木監督は「楽しんでできます」と明るく言っていました。そして戻ってきてから報告の電話も、ご丁寧にいただきました。こういう人間性が監督としての彼の強みだと思います。三島南高校の今後に更に期待します。ただ願わくば、私が生きている内に、母校沼津東高校野球部が甲子園出場する姿を見たいものです。

英樹



配り

第 262 便

勝亦製材駿河鉄骨㈱

住まい塾御殿場教室
TEL (0550) 87-0048
FAX (0550) 87-1237
〒412-0035 静岡県市中山518番地



厳冬の庭に小さきクロッカス

林 なをみ

ここにいろよとけなげに咲きおり

伝え聞く父の面影吾似とう

その墓洗う春彼岸来ぬ

勝亦 りつ子





相性



相性が悪い。マスクと眼鏡の相性がよろしくない。不意に下を向くとずり落ちるのです。ある種のマスクでは紐に眼鏡の“つる”が干渉して、スルッと滑り落ちてしまう。

室内で事務作業などはまだいい。いい。と言いつつもレンズ正面から落下していくと傷がつくんじゃないかとヒヤッとする。現場での仕事中、外部の足場からスルッ…は洒落にならないのです。そのまま足元に留まればラッキー。数段上から地上に落下なんて想像するだけで胃と財布によろしくない。なのでつるにドラマでリッチなマダムが付けているようなアレを付けている。黒いシリコン製のシンプルな紐、少し邪魔だけど。

ところで先日、軒樋の掃除の依頼をいただいて作業をしてきました。屋根に梯子を掛けて手の届く範囲で軒樋に溜まった落ち葉や落ち葉の成れの果ての腐葉土を撤去、また少し離して梯子を掛けて、と繰り返す。その一角に立派な柚子。その枝葉は軒先をかすめて屋根の上に。樋には柚子の実もゴロゴロと。とてもいい香りでした。けれども柚子の枝にはえらく狂暴なタイプの鋭利な棘があります。許可をいただいて作業の範囲の枝は落とさせてもらいました。どうやらその作業で親指の先に棘が刺さったようです。しかも先端の細い部分だけが指の皮の内側で折れてしまい埋まっている。縫い針で何とか先端を露出させ、毛抜きで挟んで取ろうとするも、ここでも相性が悪い。毛抜きの精度が悪いのか棘に触る感触があるものの上手く挟めない。棘に触れるたびに鋭利な痛みが指先を襲う。何十回と挑戦するもコレはもう医者で切開してもらうしかないか、と半ば諦めたものの最後の根性で指先をぎゅうううッ！と絞ってみたところ、圧に押されてスポッ！と棘が出てきました。

1ミリにも満たない小さな棘でのた打ち回っていたのかと思うと人間って弱い生き物だなんて思った、そんな春の一日。僕と花粉との相性も良くない。



柳田 敏和



限りないもの



最近やっと、軽自動車を買って替えました。毎月1万を強制的に貯金し、1年12万×10年=120万円。当然その間のメンテナンス、保険、車検は別途ですが、昔はこれで次の車を買えた。(昔っていつ！って話ですけど)近年の車は、本体価格はあまり変わらないが装備(全包围網システムやアイドリングストップ、ドラレコ等)がかかり、付属するものが増えると予算内では収まらなくなる。別に選ばなければいいのだが、より安全により快適になると、お値段が普通車並になる場合もある。最近では月10,000円～新車が乗れるなどの商品もあるが、イロイロあるようで、うまい話にはなんとかがつきもので。だと私は思っている。車は維持費もかかる。しかし、都会ではないので必要不可欠な足です。少しずつでも積立ないととてもじゃないが何十年経っても車は買えません。中古車、新古車という選択もありますね。人気の車種は値が落ちないんです。裾野市に建設中のトヨタタウン？車も自動運転で目的地までが当たり前になるのだろう。敷地内なら可能だと誰でも想像できる。ドローンも最近では活躍しているので、“ドラえもん”のタケコプターのように人が空を行き来できるかもしれない。二足歩行ロボットもできたし、無人探査機が月や火星、“リュウグウ”に行って帰ってくることもできたのだから、できるかもしれない。“ガンダム”が実現すると、ちょっと…。よからぬ争いが起こることは確か。そんな未来にもコロナのようなウイルスが生き残るのだろうか。どう転んでも、人間は自然の一部です。



ねがみ



ホームベーカリー



1年ほど前に、新しいホームベーカリーが欲しくなり買い替えた。買った当初は、物珍しくいろいろな機能を試したくなり、毎日のようにパンやお餅など作ったものだが、次第にやらなくなっていた。

ここ1ヶ月、やたらと食パンを食べたがる息子に、ホームベーカリーを思い出して焼いてあげるようになった。パン屋さんのパンには負けますが、焼き立てに勝るものはなし。焼けるまでの香りも家中に広がり幸せな気分になり、食欲も刺激される。

一斤をすぐに食べてしまうので、(だんだん面倒になり)息子に使い方を教え、彼に任せることにした。イースト菌を入れ忘れて膨らまない失敗もあったが、いろいろな配合でパン焼きを楽しんでいた。

ただ、彼の食パンブームは下火になってきたようで、ここ数日はパンの焼ける香りはしてこない。お休みの日にでもまた焼いて欲しいな。



祥子